

## 17 給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

### (1) 給食の食べ残し量

	学 期	令和元年度		平成30年度	
		全体	1人当たり	全体	1人当たり
小 学 校	1学期	22,001.2kg	約27.3g	23,978.9kg	約28.4g
	2学期	22,408.7kg	約24.7g	23,678.8kg	約27.0g
	3学期	9,992.9kg	約23.0g	13,873.7kg	約24.0g
	食べ残しの 処分費用	3,405,790円		3,654,964円	
中 学 校	1学期	17,517.5kg	約50.8g	18,790.0kg	約45.5g
	2学期	24,327.3kg	約59.0g	21,276.0kg	約52.0g
	3学期	9,996.0kg	約46.4g	12,272.6kg	約42.0g
	食べ残しの 処分費用	3,254,223円		3,108,918円	

### (2) 食べ残しを減らす取組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、子どもたちによって様々ですが、理由の1つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立を残しがちである傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任教諭による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。